土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.4-明飛川	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 37.0470″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月27日～ 令和3年 1月29日	東経	132° 32′ 58.4791″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 98.90m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	97.45	1.45		礫混じり砂		暗褐	rd3		細～中砂の砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～30%混入する	
2	96.90	2.00		玉石混じり砂		暗灰	rd3		L=10cm程度の玉石が混在する 砂は中～粗砂を主体とする	1/28 1.95
3	95.65	3.25		礫混じり砂		暗灰	rd3		径4cm以下の礫を20～40%混入する 砂は中～粗砂を主体とする 部分的に砂礫状を呈す	
4	94.40	4.50		花崗岩		淡青灰 灰褐			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している GL-3.25～3.60mはCL級のひん岩を貫入する	
5				花崗岩		黄褐			CL級岩盤 L=5～15cmの短柱状～柱状コアで採取する コア肌は粗い 亀裂面は暗褐色に変色している GL-4.50～7.25m間は部分的にひん岩脈が貫入する	
6										
7										
8	90.90	8.00				淡灰褐			部分的に径3cm以下の礫状コアとなる	
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
19	1.15	6	7	6	19/300		
	1.45						
13	2.15	4	4	5/110	13/310		
	2.46						
50以上	3.15	50			50/100	100	
	3.25						
50以上	4.10	28	22/40		50/140	140	
	4.24						

試料採取

深度（m）	試料番号	採取方法

室内試験

削孔月日
1/27
1/28
1/29